

三十三間堂大矢数

三十三間堂、京都浴東連華王院
 去佛刹千堂、軒行六十六間有
 下庇下の縁側にて射術を演中、六十六
 間と射道とを本堂といひ、三十三間と
 射の草堂とを本堂と稱す、此堂
 盛に行はれ、遠三十三間堂と專
 稱せ、元和偃武後諸藩の弓術家
 盛、大矢数と競伎を江戸、下河川
 八幡社の近傍、京都同様の三十三間
 堂有、京都と交互、大矢数を行ふ元
 来、紀州家、弓術最も盛、と、貞享
 中、和八十八歳、京都本堂、晝夜
 の大矢数と演、天下、恩一の馳名を裏し
 たる世、普く知所也、天下、恩一の名は
 京都、江戸相通、と一本、とも前者を射
 趣、と、得、と、傳、と、天保、四年、紀
 州、大、藩、士の、月、太、田、信、吉、は、來り、深、川、
 三十三間堂、於て、半、堂、大、矢、数、と、行、ひ、
 目、日、朝、望、日、時、近、一、万、三、千、
 餘、百、本、と、射、内、通、矢、一、万、千、六、百、本、
 遂、天下、恩、一、と、勿、と、世、因、即、ち、家、見、の
 概、況、也、通、り、矢、ハ、的、中、り、さ、も、最、端、の
 楯、柱、の、内、矢、ハ、入、り、通、り、矢、ハ、又、柱、網、を
 卷、き、り、移、教、矢、見、後、有、く、傳、り、矢、ハ、
 赤、采、を、揮、り、キ、タ、レ、キ、タ、レ、と、大、呼、
 の、勇、声、引、切、り、凝、視、を、以、矢、接、の、早、
 き、為、の、矢、當、二、本、マ、庇、下、と、行、き、た、露、
 け、り、道、線、の、矢、次、等、は、法、ど、り、而、し、通、
 宣、的、の、達、也、初、り、法、を、掛、れ、庇、下、并
 と、射、り、其、年、の、内、の、巧、妙、驚、異、堪、へ、た、
 り、本、人、の、後、座、席、下、と、看、る、ら、其、又、友、
 師、近、伴、頭、教、人、轉、換、也、又、本、堂、内、三、弓、
 師、矢、師、教、登、之、夜、ら、と、再、矢、と、矯、正、
 寸、暇、を、し、此、伎、ハ、矢、接、早、と、遠、射、正、通、熟、
 練、の、為、と、武、士、隨、一、の、面、目、と、信、士、僅、
 十、四、歳、一、晝、夜、寸、隙、を、射、通、握、飯、を、
 側、に、哺、食、位、其、技、術、精、妙、剛、膽、共、非、
 凡、恩、賞、と、新、規、録、百、五、石、を、賜、を、定、に、
 私、費、莫、大、と、千、兩、仕、奉、と、云、て、老、易、
 一、行、の、者、也、此、三十三間堂、後、大、破、維、
 新、後、弓、術、廢、絶、の、後、遂、其、跡、を、
 絶、ち、今、々、其、名、を、(弓、術、者、知、り、)〇、長、押、上、の、札、ハ、古、來、の、隨、伎、者、古、姓、名、矢、数、也、



中禪寺登山の雪難



野老廿歲の
 正月初七日光宮
 參拜時三百三夜大
 雪降通一夜燃燈
 尚寒裏見露の二層も
 見よふ中禪寺登山のつふ
 串と云子ハ勇奮同行の二を結
 束途に流き案内者尊かれ馬逐
 子到る途上の山谷白雫のそそおとる
 草店小懸接待杖と得て進む中茶屋か
 天階と登り如積雪氷滑すおと進
 むは尺歩と退脚四支氷背汗と流中気
 と鼓勇と奮の漸く不動堂登ると得たり
 左折華嚴瀑と見んとすれ案内者ハ雪共大
 一歩も進めぬ且目下氷固く見と足らぬ湖水
 と覺む飛雪紛々四面濛々たるの中禪寺暮し
 別所小懸二人頼推たたぬ酒と傾け意氣昂然
 予ハ餅と喫し酒代ふ走り大黒の背と請けて帰途に就く不動堂
 ずりの下坂前路既没氷雪滑賊寸時も立ち得て顛覆推轉
 玉と懸盤轉ると如傳深覆中より輾倒の藝者際限なく或ハ積雪
 小埋没影と失は或ハ千仞の崖谷を花らんと互ニ大呼山と叫ハ川と答ふ
 帯刀ハ轉輾毎桐油を焚破寸新見と解も命わり馬逐下を得
 寒気心肝微しく手足益氷草店暮入手足を火中投て人心地有き
 薄暮宿時安歸中此頃湖畔其とし軒の茶店を唯夏季山開登山者の
 垢難修業の荒小屋ありの星霜六十五年今や文明開化湖畔ハ内外播紳
 別荘の第壹座を誇り險峻難路ハ担々馬車人力車を通はしり往事追憶
 して自かり噴飯堪はる図して一筆に資せ

東北線盛岡近郷山景

明治卅年十月
七日大隈行
途上

東京近傍より
赤い紅葉を見せ
り、仙台辺よりハ
満山既ニ紅葉利府
驛以北ハ矮山ニ縋
連り雜林一般ニ霜
子降キ淡赫澤紅キ
色量松林ノ翠綠
鮮明ニ点綴真ニ大
和梅も蜀紅の錦
と云ふべき景観紅
葉視ハ北地ノ隈と
力のつゞく田畔魚名
の寸草正澤紅を見
る也



雪除納屋

盛岡市地方裁判所内

石割
櫻

岩長三間半
中二間半
高八九尺
中央割目あり

老枝枯死
の人のまじり
生枝の八新芽
發達花時更
觀りて落葉
後の新見なり



大湊三本松

大湊ハ陸奥國下北郡函館と相對する輕嶋之青森より海路十八里陸路ハ野田地灣に沿ひ十七里と廻り遠平元來極北の僻陬微々たる漁村ニふるまひ一慶明治四年海軍要港部と大湊の西半田村ニ遷られりより僅ニ日用品を便とて一町余りの町並と作れり此地三名物の一曰く三本松曰く芦崎曰く釜伏山といふ三本松ハ三老大樹天と衝き圓蓋四方ニ張り赤幹蒼葉對翠瀟々として美觀なり芦崎ハ要港部の前面海中東ニ流き凡二十町許一帯の松林とを羽筆雲と一抔天の橋立ニ酷似し之を釜伏山大湊一帯と登り其竹筥ふるま山とて迎傷み於ける高山頂上全く大金と伏したる如く亦奇なり

總して田圃少く荒涼凄寂産物もろ魚介も乏艱難鮭ハ御年のとの大川の鯉・鰯多し守岸の蟹澤山殊ニ勝れたるは鮭煮具にて守余り其味軟肉貝中の大王たらん臘明鮎と會したる事あり最も佳味あり男女とも襦袢襪履とまきふに者旅舎ありし時便所ハ藤森兼用の巨瓶小箱ニ屋根板と割きたる如き本片と入せりたり紙の代用ならん民度の低級以て想ふべし



大湊冬季風俗

釜伏山

土人の言語通譯を得ぬは、
 夏冬共に女ハ多ク労働ヲ服
 非ト凡呂蒙板のト也人毎袖無
 羽織ニ前掛とされ脚半と云々赤
 色と用たりノスカハ二三寸の小魚ヲ脂多ク傾
 佳味焼て食フ又ハ用ニ多ク獵のものト毎
 朝長極ニ若ハ来リ賣ル豆腐屋ハけんどん蓋の
 大箱ヲ納れ賣ル亦奇也山葡萄ハ小粒ニ味本々ト
 の如ク土運ハ葦ノ要港部者ノ勞投チリ雪掻
 人足亦要港部官宅者ノ人足ニ此依と雪靴ニ代用奇技ナリ
 總テの語尾ニハト云と云々何々買ハニト云



糶采合馬車

又力賣女

子供遊

女豆飯賣

氷滑り

山葡萄賣

荷運ハ

女土運人足

雪掻人足

朝鮮風俗一

行高



男子一服風



婦女外出



妓生 キーサユ

男子ハ上下共坐立ト冠リ人衆ニテモ
 脱ラズ筒袖ノ短衣ヲ着廣股別ヲ
 穿キ上ニ筒袖ノ長衣ヲ着ハ
 都テ純白古函礼式モ同服ナリ
 女子ハ筒袖約束ノ短衣ニ股口ヲ
 穿キ乳下ヲ廣布ト纏ヒ裾
 甚ク廣ニ赤帯ヲ純白色ナリ
 外出ハ萌黄袖付ノ被衣ヲ冠サ
 深ク面ヲ隠ス被衣ノ袖口細ハ赤
 紫帯ヲ圍ヒ妓生ハ藝妓トハ艶
 麗婀娜ト着飾ル
 労働者ヲ都テヨボト呼ビ童
 男ヲチヨニカト云ヒ童女ニ
 テ組ミ下ケリ無妻ノ内ハ後令止
 歲以上ニテモ垂髪ニテチヨニカト
 稱スノ徳テ肩荷ヲサシバ材木
 負水汲ノ如ク迂愚ヲ演セリ

婦女洗濯



洗濯ハ婦女
 唯一ノ業務
 トシ年中掛
 切テ下水溝
 ニテモ又洗濯ノ
 屑

洗濯物ヲ頭ニ載セ



野菜賣大淫芝ハ
 表中者ナリ

土石植木
 負者



水汲ミ



短衣乳ヲ露出之ヲ得意トス



労働者
 童初ハ常色
 物長衣ヲ着ヌ



木挽
 労働者
 童初ハ常色
 物長衣ヲ着ヌ

鋤使三人掛



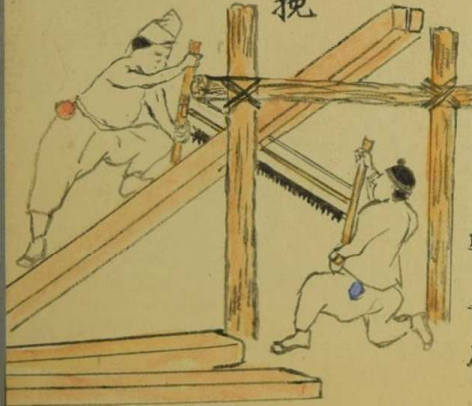
牛引



鋤賣チヨニカ



大鉄ハ鋸
 ナ切ル為メ
 鋤ヲチヨニカト
 稱シテ賣ルトス



朝鮮風俗の二(特異様分ヲミヲ揚ク)

笠 カツと云



中 笠



笠ハ極テ細キ竹ヲ備ニ支那紗
又ハ麻布紹等ヲ張ル中々微
密ノ細工ヲ上ニ著ハ三千四ノ要
シ普通物
ニテモ三四円
ト以故ニ大
切ニテスノ中ハ
絹糸又ハ馬尾編モ
緑黒切ノ笠ノ似多ク長



笠 帽

笠の雨覆



薄キ竹骨ニ油紙ヲ
張リ折畳置ニ角
知クニ懐中ス
雨少キニ此
ニ雨
傘ナ
頭巾
緋羅紗等ヲ製ス縁黒
笠ハ小籠毛ト植ニ此ニ笠
ヲ冠ル上奇月ヲ放ニ女も用ユ

頭巾



東髪及ニ岩申ヲ當ニル欣



前カリニ髪受
搔キ上テ短ヤ
真ニ髪ヲ束テ
岩中ヲ當テ小
ニ止メ後方ニ所ヨリ
黒緒ヲ髪ニカケテ止メ
而シテ笠ヲ冠ル

女の東髪



圓の如ク頸
の如ク楕圓
取ニ束テ短
算トテ上
下一様ナリ



足袋 指割ト
金巾又ハ朝鮮木綿
ニ製シ白色夏冬
の別ニ大抵物ト
入モ筒深ク踵背
の上ニ便ト作ル

靴



黒四維紗
又黒製
割衣其
淺シ男女
同様瓜光
白糸一線

下駄



木ト操リ
扱キ足
の前迄
尖リ及リ
異様也
徳丹色ナ

鞋



マラ繩ニ製
又前部の堅
麻糸ヲ用ニ
下飯田女
般ニ用テ普通
無紐ニ履テ
自由ニ上テ流
業者一存
用ユ

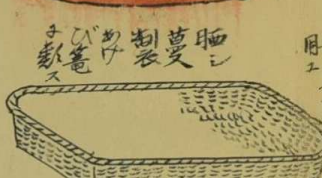
溶器四種



二個共土焼今ハ焼類ス



燒土

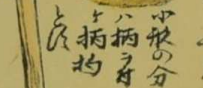


四種ト凡テ物
トノ桶類ナキ故
盥手桶ニ代用女
婦土燒鉢洗
濯トノト入
頭巾の行多

水入



左瓢の二割
中依の分
ハ柄ヲ
ハ柄約
ト依



鋏



柄三尺併



五六寸
中三寸余
中九寸

突鉈



鉈

柄長七尺

墨壺

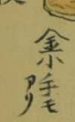


中八寸

長一尺三寸

左官

木小手

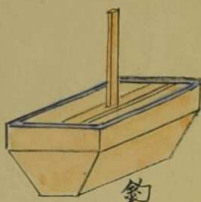


余手



尿壺陶白色

男女ト帝
子座右置
便ト客前
モ揮ラテ



釣瓶

木口
張り

木挽大

長二尺寸

乃至六尺

手鋸

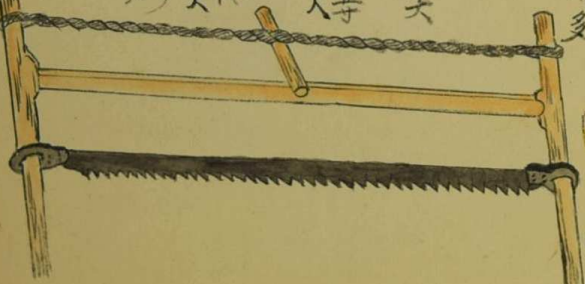
アリ口

手長尺

守佐

二尺マテ

余手



村里の光景

總テ在郷の家屋、極テ矮小
 多く、土間住居、奥行一間、檜敷
 戸仕切、作丸木、建棟割格好高
 依甚、不規則、葺の儘、並、里子
 繩、縦横、張、押、た、道、先、ウ
 豚、小屋、齊、民度の低方、想よ
 へ、故、山下、下、敷、鼠、草、の、叢、生
 した、如、屋上、の、赤、色、の、唐、辛、と、乾
 柿、也、同、品、の、皆、好、多、食、也、又、丸
 瓢、と、作、て、屋、根、に、這、り、込、村、中、時、に、瓦
 葺、門、構、の、屋、と、見、さ、蓋、上、農、家、ら
 ん、村、道、の、山、に、必、ず、墳、墓、の、土
 饅、頭、累、々、々、と、見、さ、石、碑、更、に、無
 く、唯、拜、石、と、人、秋、石、像、あ、ら、う、上、寺、の
 墓、や、山、裾、の、白、色、の、洗、濯、物、と、花
 した、也、の、人、車、内、地、に、日、輪、入
 ち、あ、く、鮮、く、と、引、く、細、笠、と、
 負、ひ、た、ら、生、鶏、賣、手、と、提、げ、た、
 ハ、鶏、印、の、も、と、也、旌、表、碑、ハ、村、中
 の、純、史、又、ハ、善、行、者、の、賞、徳、碑、也、
 在、多、く、支、那、の、遺、風、と、似、て、
 石、人

白岳山



井戸
 力石を
 十高積
 上依き石
 標と後

旌表碑